



福井県 永平寺町

第59号

令和2年8月21日発行

議会だより



わんぱう団体

永平寺町ジュニアリーダー

(※ 最終ページに紹介記事)



日本中の子ども達と 永平寺町で交流したい

2 ~ 3

議会新体制スタート

新議長・新副議長あいさつ、委員会構成など

11 ~ 19

そこが聞きたい! 議員12人が一般質問

19

新型コロナウイルス対策 議会要望&行政回答

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会

検索

※写真撮影時のみマスクを外しています。

議会の新構成

(◎委員長 ○副委員長)

議長：奥野 正司 副議長：朝井 征一郎 監査委員：中村 勘太郎

町議会

議会運営委員会

◎江守 勲 ○酒井 秀和 金元 直栄
 滝波登喜男 伊藤 博夫 酒井 和美

総務産業建設常任委員会

◎酒井 秀和 ○川崎 直文 松川 正樹
 中村勘太郎 齋藤 則男 伊藤 博夫
 奥野 正司

教育民生常任委員会

◎金元 直栄 ○酒井 和美 上田 誠
 滝波登喜男 江守 勲 長岡千恵子
 朝井征一郎

予算決算常任委員会

◎伊藤 博夫 ○酒井 和美 (他 全議員)

議会・行財政改革特別委員会

◎江守 勲 ○滝波登喜男 (他 全議員)

幼・保再編検討特別委員会

◎滝波登喜男 ○長岡千恵子 (他 全議員)

議会広報特別委員会

◎朝井征一郎 ○酒井 和美 松川 正樹
 上田 誠 滝波登喜男 江守 勲
 酒井 秀和

組合議会

五領川公共下水道事務組合議会 松川 正樹 滝波登喜男 長岡千恵子 酒井 秀和

福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 奥野 正司 朝井征一郎 江守 勲 上田 誠

勝山・永平寺衛生管理組合議会 齋藤 則男 川崎 直文 酒井 和美

福井県後期高齢者医療広域連合議会 奥野 正司



議長・副議長就任ごあいさつ

持続可能な町の創生に向け、決める責任を果たす議会へ



議長 奥野 正司

盛夏の候、町民の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
 また日頃より町議会活動に深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
 この度、7月の臨時会におきまして、議員の皆様のご推挙をいただき議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、職責の重さを強く感じております。
 議員は、二元代表として自治体の首長と同じく町民の皆様の直接選挙により選ばれ、議会を組織し行政の監視機能、町民の民意吸収、町民福祉の向上につながる政策立案の役割を果たすために議会活動行っております。
 私は議会が自らの改革に向け平成24年8月に制定した「議会基本条例」の、
 ①公平・公正・透明な「開かれた議会」づくりの上に町民参加型のま

ちづくりを志向し、
 ②議会から各地区や各種団体に向いて町民と意見を交換し、広く得られた意見を基に議論を交わす「行動する議会」、
 ③得られた意見を基に整理・集約して町民本位の政策提言を行う「提案する議会」を目指す。という理念を受継ぎたいと考えます。
 二元代表制の一方の機関である町議会（議決機関）として、行政（執行機関）とは一定の緊張関係を保ちながら、適切で持続可能な行政サービスの維持向上につながる部分では、議会と行政は連携し速やかに議論を進め、町民の福祉向上につながる施策を迅速に実施に移す様、町民の皆様は望まれているものと考えます。
 議員の皆様のご協力を頂き、議事処理の合理化や議会の働き方改革・生産性向上にも進めるべきものはないか、改革出来るものはないか点検を進めたいと考えます。
 執行機関の監視機能を適切に果たしながら、議決機関としての議会の責任を果たし、持続可能な永平寺町創生に向けて行政と審議を尽くし、町民の皆様と協働する汗かく議会を目指します。



副議長 朝井征一郎

住民に愛される議会

町民の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
 日頃より町議会活動に深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
 この度、議会の新構成において、議員各位の信任により副議長に就任させて頂くことになりました。町民の皆様と活発な意見交換をして、広く得られた意見を基に、議員間で議論を交わし、審議をして、議会で議決された議案は町民の皆様にも正しく説明し、決めた責任を果たせる議会を目指します。
 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、行政・議会と共に地域の住民の生活と暮らしを守るために頑張っております。
 本町の人口減少、高齢化が進んでいます。未来に希望がある町の創生のために、議長をサポートし、町民の負託に応えて参りたいと考えております。
 今後も、皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

お詫びと訂正 6月5日の各戸配布物「令和2年永平寺町議会第2回定例会の一般質問通告一覧表」の一部に誤りがありました。右記のとおり訂正し、皆様にお詫びを申し上げます。
 (誤) …15日 (火) (正) …15日 (月)
 (誤) …朝日 征一郎 (正) …朝井 征一郎

令和2年度一般会計補正予算審議報告

【主な項目】

新型コロナ感染防止対策(マスク・消毒液等購入費、行政業務分散対策費)	772	万円
子ども生活応援給付金	4,664	万円
子育て世帯臨時特別給付金	2,250	万円
事業継承応援給付金	5,005	万円
水道基本料金・メーター貸付料6カ月減免	5,250	万円
「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」による特別定額給付金給付事業	18億5,430	万円
旧永平寺保健センター跡地境界確定・評価業務委託料	199	万円
新型コロナ感染防止マスク等衛生品購入、業務分散処理費	1,368	万円
企業立地促進事業該当企業助成金	726	万円
松岡幼稚園擁壁対策工事費	2,800	万円
儲かるふくい型農業総合支援・6次産業化支援補助金	2,418	万円
農業地域水利施設管理補助金	150	万円
町内飲食店テイクアウトデリバリー参入支援広告費	150	万円
教育コンピューター整備事業(小学校タブレット導入費)	5,148	万円
教育コンピューター整備事業(中学校タブレット導入費)	2,623	万円
文化財保護事業H20、21年度分未完了事務実施費	254	万円
除雪力強化へ新規除雪車取得 除雪ドーザー	1,056	万円
救急用資機材購入 救急車監視モニター	355	万円

令和2年 第2回定例会報告

議長 江守 勲

令和2年第2回永平寺町議会定例会は、6月1日(月)から6月15日(月)まで15日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第2回定例会議案

報告第1号 令和元年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	報告	議案第27号 令和2年度一般会計補正予算について	可決
承認第2号 令和元年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第28号 令和2年度介護保険特別会計補正予算について	可決
承認第3号 令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第29号 後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
承認第4号 令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第30号 国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
承認第5号 令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第31号 福祉関係医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
承認第6号 令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第32号 除雪車の取得について	可決
承認第7号 令和2年度水道事業会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第33号 令和2年度一般会計補正予算について	可決
承認第8号 令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	請願第1号 老朽原発稼働に関する請願書	不採択
承認第9号 固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認	請願第2号 関西原発にかかわる不正資金還流の真相究明をもとめる請願書	不採択
承認第10号 税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認	請願第3号 福井県歴代幹部の金品受け取りに関する真相究明を求める請願書	不採択
承認第11号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認	陳情第1号 特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続のための協議を県に求める陳情	不採択
承認第12号 税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認		

■議案への賛否一覧 議席順に掲載(賛 賛成 反 反対 一欠席 □退席)※議長(江守勲)は採決に加わりません

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	奥野	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
承認第12号	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第30号	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
請願第1号	賛	賛	反	賛	賛	反	反	反	賛	反	反	反	反
請願第2号	賛	賛	反	賛	賛	反	反	反	賛	反	反	反	反
請願第3号	賛	賛	反	賛	賛	反	反	反	賛	反	反	反	反
陳情第1号	賛	賛	反	賛	賛	賛	反	反	賛	反	反	反	反

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等17件については全員賛成です。

令和元年度一般会計補正予算専決処分の承認

【主な項目】

商工振興関係利子補給事業 翌年度予算支払へ変更	△461	万円
県営道路整備事業負担金	△1,192	万円
給食事業賄材料費 小中学校休校給食休止による	△900	万円

議案への賛否討論

議案第12号
税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

反対討論 金元 直栄

今条例の改定は条文中、字句の訂正もあるが、ふるさと納税に企業からのふるさと納税を認めるもので、これは地方税の本旨を歪めるだけでなく、企業と地方自治体の癒着を生むもので認められない。

議案第30号
国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論 金元 直栄

国保税と介護納付金を計3万円引き上げ、最高額を99万とするものには、いくらなんでもコロナ禍の中で引き上げはないでしょう。いわゆる健保と比べても異常に負担が高額になっていることも含め、引き上げは認められない。

請願第1号

老朽原発稼働に関する請願書

反対討論 酒井 秀和

原発で事故が発生すれば甚大な被害が及ぶことは理解しているが、日本が政情不安国からの化石燃料を輸入していることや太陽光や風力発電は高い経費が掛かる割に生産性が低いなど他のエネルギー

ギーに頼るにも課題が多い。当該原発は60年経過しても安全であると評価されていることから運転再開は適正である。よって原案に反対する。

賛成討論 上田 誠

老朽原発は40年以上経ち、当初の安全性や一旦事故が発生すると収束難しく住めなくなり、健康や命まで奪う。福島原発事故から明らかであるように今後未曾有の地震や津波の自然災害もありうる。よって老朽原発を運転しない趣旨の請願に賛成する。

反対討論 酒井 和美

老朽原発の運転停止と説明機会を求める請願であるが、老朽原発の危険性の科学的根拠が請願理由において示されておらず、請願者が説明機会を与えられたとしても十分な説明能力があるものか判断しかねる。説明機会については自ら行う権利を有するものと考えらる。

賛成討論 金元 直栄

建設後45年を超えた高浜原発1号機をはじめ、40年超え原発の再稼働を進めているが、原子炉は長年強力な放射線や中性子線を浴び、どんどんもろくなっていくという。

議案への賛否討論

再稼働対策工事の買収、供応であり法律に抵触するものである。全容解明と処分、今後の行政判断への影響や再発防止のためにも請願に賛成する。

反対討論 奥野 正司

他の自治体に勤務している方を呼び戻し、関西電力と地元を取りまとの役割を担わせたのは当時の高浜町行政。結果、元助役というモンスターを作り出したが、これは当事者1人ひとりの心の問題。既に関西電力は業務改善策定委員会を開設し、改善案を国に提出し、元最高裁判事等からなる第三者委員会も、元経営陣に対し13億円の損害賠償請求訴訟提起を決定した今、本町議会から関西電力への請願の意見書提出には反対。

請願第3号

福井県歴代幹部の金品受け取りに関する真相究明を求める請願書

反対討論 酒井 秀和

本請願の要旨にある内容は3月17日の第三者委員会の報告を県が受理していることからすでに完結しているといえる。よって原案に反対する。

賛成討論 金元 直栄

高浜町の元助役から関電幹部ばかりか、県幹部にも金品が渡っ

当初の稼働計画を大きく上回る稼働は認められない。福島原発の事故で懲りているはずだ。よってこの請願に賛成する。

反対討論 川崎 直文

原子力発電所は「高経年化技術評価」「長期保守管理方針」による機器の点検・修繕計画を届け国の確認を受けている。原子力発電所には原子力規制委員会の認可で、20年を超えない期間で1回に限り延長できる「運転期間延長認可制度」がある。請願にある関西電力の原子力発電所は延長認可申請し認可されている。反対の討論とする。

賛成討論 長岡千恵子

東日本大震災時の福島原子力発電所の事故で原子力発電所に対する安全神話が崩壊した。震災後国内の全ての原子力発電所が停止したが、その間も電力は確保されたことから、原子力発電所の稼働は速やかに停止すべきと考え、請願に賛成する。

請願第2号

関西原発にかかわる不正資金還流の真相究明をもとめる請願書

反対討論 酒井 和美

全容解明と関係者の処分、再発

防止を国の責任で関西電力に求める請願であるが、3月経済産業省が出した業務改善命令を受け、関西電力は「経営刷新本部」を設置し再発防止策をまとめている。また市民団体による大阪地検への告発提出、関西電力による元役員提訴の報道もあり、経緯を見守る段階。

賛成討論 金元 直栄

元高浜町助役から関西電力幹部に3億数千円もの金品が提供されていた。この事実は、原発行政の闇の部分で、関電にも損害を与えていたと報じられているが、この金額5年間のみの調査となっている。20数億円もの金が流れていたという報道もあることから、請願の通り、さらに真相究明を求めため請願に賛成する。

反対討論 酒井 秀和

本請願の内容はこれまでの報道でもわかるように徹底解明と厳正な処分、再発防止策の策定と実施は十分に進められており、請願の要旨に含まれている内容は完結している。よって原案に反対する。

賛成討論 上田 誠

関西電力幹部と元高浜助役、工事請負業者による不正資金還流は、国民の納めた電気料であり、

ていたが、身内の調査で終わっている。これは原発行政だけでなく県の契約にも影響があったはず。関電幹部は有罪で、県幹部は問題なしでは結論ありきだ。第三者による調査が必要だとの請願はもつとも賛成する。

陳情第1号

特急サンダーバード「ついでに」の存続のための協議を県に求める陳情

反対討論 酒井 秀和

乗り換えが発生し不便になることは理解できるが、在来線を存続させれば赤字が増える。新幹線を通すためにはやむを得ない。よって原案に反対する。

賛成討論 金元 直栄

新幹線が敦賀まで開通すると、名古屋や京都、大阪へは乗り換えが必要となり不便だ。自民党の稲田議員も絶対に残すと明言している。「しらすぎ」等を残すことは当然の要求であり、この陳情に賛成する。

令和2年 第3回臨時会報告

議長 江守 勲 (承認第13号～議案第34号) 議長 奥野 正司 (議案第35号～発議第4号)

令和2年第3回永平寺町議会臨時会が、7月27日(月)に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第3回臨時会議案		議案第35号	同意
承認第13号	令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	監査委員の選任同意について	承認
承認第14号	令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	行財政改革特別委員会の廃止に関する決議	可決
承認第15号	令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	議会改革特別委員会の廃止に関する決議	可決
議案第34号	損害賠償の額を定めることの専決処分の承認について	議会・行財政改革特別委員会の設置に関する決議	可決
	字の一部区域の変更について	発議第4号	可決
		幼・保再編検討特別委員会の設置に関する決議	可決

令和2年度一般会計補正予算審議報告

【主な項目】

松岡中・永平寺中・上志比中校舎等改修工事(エアコン整備等) 1,320万円

小中学校休校に伴う賄い材料費の減額 ▲560万円

商工振興事業補助金 500万円

町道87号線陥没箇所での走行車両物損事故保険金支払い 11万円

議会改革特別委員会報告

委員長 滝波登喜男

7月13日、当委員会を開催し、この2年間協議してきた課題について中間総括を行った。

■議員報酬の見直し

議員報酬月額算出方法については合意したが、改正時期やその額については、今後十分協議検討が必要であり、先に決めたスケジュールは一度白紙とする。

■議会の電子化

タブレット端末機を使用することで、ペーパーレスや資料保管等に有益なため、今年度はデモ機を使って活用を検証する。また、全議員が使用できるよう研修を行っていく。

■政務活動費の制度導入

本議会のような小規模議会では、現時点で必要性が低く、検討することを取り止める。今後必要に応じて検討することとする。

■通年制議会の導入

制度導入している他議会においても、基本的には年4回の定例会が中心となっているので、現時点では必要性が高くないと、検討することを取り止める。

■本会議制の議案審議

平成29年9月議会から本会議制を試行的に実施してきた。その結果、決められた時間内で効率的かつ濃密な審議ができた反面、議員間討議が不十分であったことや、運営がスムーズに

欠けているといったことが指摘された。

そこで議員間で討議をする場合の設定と第2審議を必ず行うことなどを改正する。

今後は、本会議審議を確立し、規則等の整備を図ることとする。

■活発な委員会活動

議会の行政監視と政策立案の機能を充実させるには、委員会が活発に活動することが必要。昨年度から

- ①テーマを定め、調査・研究・提言を行う。
- ②所轄事務事業の実施状況調査と評価を行う。を実施してきたが、本年度も継続する。
- ③全員協議会で報告された行政案件について、委員会に付議し、調査検討すること。
- ④委員会においても、議員間討議を積極的に行うこと。
- ⑤委員会での質問項目は、詳細かつ2週間前に行政に伝えるよう努める。
- ⑥委員外議員は、積極的に傍聴し、協議内容の理解に努めること。

以上、2年間の活動を総括し、残り2年間で真に町民に必要なとされる議会目指して活動することとした。

常任委員会報告

コロナウイルス対策下の避難所運用確認

総務産業建設常任委員会 委員長 中村勘太郎

6月8日に開催し、次の内容を慎重に審議した。

■議会の防災(BCP)について(今後の議会防災の訓練内容)

地区住民の指定避難所に指定される施設に、有事の時は照明を点けるよう、行政へ提案。有事の実災害に伴う、議員の避難行動や情報収集の確認。その中で、各地域に点在する消防団詰所での情報の提供や情報収集も有効だが、災害最中の行動は避けることなどを意見交換。

コロナウイルス対策中の災害避難所の運用を意見交換。町のBCP中のウイルス関係マニュアルを確認したところ、運用の手引を作成し、今月15日頃に、区長・自主防災組織等関係機関に配布することを確認。

- 事務事業検証について(事務事業と担当議員の確認)
 - ①空き家
 - 松川・伊藤・酒井和・酒井秀
 - ②IoT推進
 - 中村・川崎・江守

現段階は、新年度より担当課へ報告し、委員会の構成が行われた時点で早急に取り組み。年間テーマについては、新たな組織でまとめることで議了。

■その他

- ①ソーシャルネットワークシステム(SNS)の活用について
 - 行政と議員間で情報を共有し発信する活用方法(SNS)を委員会全員で賛成。この取り組みについての議員の選出(数名)は議長一任にて議了。
- ②その他
 - 委員会開催による理事者の出席を求める件について意見交換。従前どおりの2週間前に理事者に対し出席を求める。ただし、緊急案件の場合はこの限りでないことを確認し議了。

教育・住民生活のコロナ対策を協議

教育民生常任委員会 委員長 上田 誠

6月8日全員出席で開催し、次の内容を協議した。

■請願第1号

老朽原発稼働に関する請願書
 ○趣旨・理由の説明
 ・40年以上前の設立により安全使用の限界
 ・核暴走事故の可能性と住民の健康・命への危険性
 ・重大事故の収束は福島原発事故からも極めて難しい

○採決
 ・賛成反対同数
 ・福島原発事故・地震や津波等の未曾有の自然災害・住民の安全に対する不安を鑑み委員長判断で採択とする

■請願第2号

関西原発に関わる不正資金還流の真相究明を求める請願
 ○趣旨・理由の説明
 ・関西電力幹部と元高浜町助役の不透明な金の流れは原発工事の買収供応に当たる
 ・資金は電気料であり国民のお金

○採決
 ・国の責任で対応
 ・不正資金還流は国民のお金であり法律に抵触する。今後の行政判断への影響と再発防止を鑑み委員長判断で採択とする

■請願第3号

福井県歴代幹部の金品受け取りに関する真相究明を求める請願
 ○趣旨・理由の説明
 ・県庁歴代幹部109名も金品受け取り
 ・県の責任で「第三者委員会」による全容解明と再発防止

○採決

・賛成反対同数
 ・今後の行政判断の影響や再発防止のためにも必要と判断し採択とする

■その他

・コロナ対策について
 ・委員会等の内容検討について
 ・消防行政について

テレビ中継で
 ご覧ください

9月定例会

(予定)

生中継

9月 4日(金) 10時~

【本会議】

9月 9日(水)・10日(木)・11日(金) 9時~

【一般質問・本会議(第1審議)】

9月 16日(水) 9時~

【本会議(第2審議)】

9月 18日(金) 10時~

【本会議(第3審議)・採決】

9月 24日(木)

【予備日】

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
 ○会議は傍聴することができます。

★事前申し込み不要
 ★バリアフリー、エレベーター完備
 ★ソーシャルディスタンスでの傍聴をお願いします

地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表

放送期間 2020年8月22日(土)~8月28日(金)

時	8月22日(土)	8月23日(日)	8月24日(月)	8月25日(火)	8月26日(水)	8月27日(木)	8月28日(金)	時
10	6月1日 第2回定例会(開会・町長招来あいさつ)	6月2日 本会議 報告承認等採決	6月3日 本会議 6月補正予算第1審議	6月4日 本会議 6月補正予算第3審議、採決	6月12日 一般質問② 長岡千恵子議員 川崎 直文議員	6月12日 一般質問④ 上田 誠議員 齋藤則男議員	6月15日 一般質問⑤ 滝波登喜男議員 奥野 正司議員	10
11	50分	1時間52分	1時間36分	30分	1時間18分	1時間8分	1時間28分	11
12								12
12								12
21								21
22	6月2日 本会議 報告承認等採決	6月3日 本会議 6月補正予算第1審議	6月3日 本会議 6月補正予算第1審議	6月12日 一般質問① 朝井征一郎議員 中村勘太郎議員 松川 正樹議員	6月12日 一般質問③ 酒井 和美議員 酒井 秀和議員	6月15日 一般質問⑤ 金元 直栄議員	6月15日 本会議 請願・陳情、採決	22
23	1時間3分	1時間7分	1時間7分	1時間20分	1時間19分	1時間7分	1時間8分	23

★ テレビ番組の構成上、番組表はあくまでも予定時間であり、開始時間の遅れが生じることがあります。詳細につきましては、リモコンの番組表でご確認ください。(午前10時~12時頃、午後10時~12時頃) お手数をおかけして、誠に申し訳ございませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

6月定例会 一般質問 **そこが聞きたい!**

12名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問：目次

- 朝井征一郎 … 11P 酒井 秀和 … 15P
- 中村勘太郎 … 12P 上田 誠 … 16P
- 松川 正樹 … 12P 齋藤 則男 … 16P
- 長岡千恵子 … 13P 金元 直栄 … 17P
- 川崎 直文 … 14P 滝波登喜男 … 18P
- 酒井 和美 … 14P 奥野 正司 … 18P

問 災害に備える 避難所のクラスターを防ぐ

答 避難用室内テントを活用



朝井征一郎 議員

問 災害時の感染拡大対策、避難所での新型コロナウイルス感染症の対策はどうか。避難所の「3密」をどう防ぐか。避難所は不特定多数の住民が、密集し、感染のリスクが高いとされる。避難者同士の接触を減らすための備え、避難者の感染防止対策として、基本計画や備蓄にマスクと消毒液、地域防災計画の見直し、パーティションの検討、避難所に来られた住民全員が非接触式体温計で検温し発熱の病気がないか、防護服など簡易ベットや床マットの備えを十分に。女性子育て家庭

に配慮し、女性を防災復興の主體的な担い手として、授乳室や男女別トイレなどを設置し、高齢者・障がい者のためにも、避難所運営に当たって欲しい。
総務課長 避難準備情報は、高齢者・障がい者の避難準備開始など、事前に知らせて、余裕を持って避難出来るような対応を。避難所の備蓄に関しても、非接触型体温計、消毒液、飲料など備蓄しており、間仕切り等、女性や子育て家庭に配慮した避難所用テントに



避難所に設置されたテント (7/5職員防災訓練)

より、プライバシー保護に配慮した避難所のレイアウト等について考えている。
町長 避難所については、大規模災害の時は、第1避難所に集まって、そこから第2避難所に移動して避難してもらう。大規模災害の時は、日赤奉仕団、民生委員、自主防災委員、区長の方々の協力により活動していただく。何とかこのコロナの中での災害を乗り越えていきたいと思う。

議会・各委員会の議員出欠状況

令和2年4月1日～令和2年7月27日

議員名(議席番号順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
	松川 正樹	上田 誠	中村勘太郎	金元 直栄	滝波登喜男	齋藤 則男	奥野 正司	伊藤 博夫	長岡千恵子	川崎 直文	酒井 和美	酒井 秀和	朝井征一郎	江守 勲		
出席回数	30	27	27	21	29	21	24	21	24	30	24	24	21	21		
会議回数	30	27	27	21	30	21	24	21	24	30	24	24	21	21		
出席率	100%	100%	100%	100%	97%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
No.	日付	会議名	○…出席 ×…欠席 —…員外 △…遅・早 研…研修 傍…傍聴 弔…弔事													
1	4/7	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	傍	○	—	○	○	○	—	○
2	4/8	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	4/10	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	4/10	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	—	傍	
5	4/10	議会広報特別委員会	○	—	—	—	×	—	○	—	○	○	○	—	傍	
6	4/17	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	4/17	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	○	—	傍	
8	5/8	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	—	傍	
9	5/8	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	○	—	
10	5/15	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	5/22	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	—	傍	
12	5/25	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	6/1	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	6/1	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	6/2	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	6/3	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	6/3	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	—	傍	
18	6/4	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	6/8	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	—	○	—	○	○	—	○	
20	6/8	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	○	—	
21	6/12	本会議(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22	6/15	本会議(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23	6/18	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24	6/24	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	—	傍	
25	7/2	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	7/6	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	—	○	○	○	—	傍	
27	7/7	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	—	○	—	○	○	—	○	
28	7/8	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	○	—	○	—	—	○	—	
29	7/13	議会改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	7/13	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	—	傍	
31	7/20	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
32	7/27	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
33	7/27	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

問 子にとって最良の 幼稚園・幼児園再編を

答 松岡東幼児園を改修して存続



長岡千恵子議員

問 志比塚や薬師在住の子どもが松岡東幼児園を希望していない理由は、
子育支援課長 希望しない理由として、0歳児保育をしている園を希望していることと、車での通園者が増加していること。
問 再編案で混合保育や、その後の統合が含まれていることは、最初の約束の3園体制

をほごにして、ゆくゆくは2園体制にするのか。
町長 松岡東幼児園は新築ではなく、改修して3園体制で保育する。
問 松岡小学校の児童の一人当たりの教育費は町内で一番安い。40年以上経過した幼児園を改修するのではなく、新築してもいいのではないか。松岡幼稚



新園建設予定の町有地(松岡木ノ下地係)

園・松岡東・西幼児園の3園の長寿命計画の見込み修繕費の合計は1億8646万円で計画している。これを加味すれば、新築が可能では。
財政課長 公立で幼児園を新築すると約4億円必要。さらに用地取得費も必要となる。
町長 松岡西幼児園の土地の地目が公園、その場所に建て替えることは不可能。
問 希望者の少ない松岡東幼児園を残すことは、数年のうち

【その他の質問】
問 お館の椿。後世への存続施策は。
答 広い土地への移設については、お館の位置やお館の椿がどうだったのかなど調査して考えていきたい。

問 幼稚園・幼児園の一部民営化は急務だ

答 公・私立共に子育ては町が責任をもつ



中村勤太郎 議員

問 少子化や核家族化が進行する中で、一方で、子育て世代の保護者の就労形態や生活スタイルが多様化し、長時間の延長保育や休日保育等々の様々な保育サービスが求められる現状だ。3園の内1園を松岡木ノ下地係に新設する園を、認定こども園として幼児教育・保育の実施、延長保育や一時保育の拡充、休日保育等により、柔軟で新たな町営化・民営化保育事業の取り組みを期待するが。
子育支援課長 建設候補地である松岡木ノ下地係の町有地は、松岡町政の時から新たな

な幼児園を建設する目的で確保していたもので、公立・私立に関わらず、子育ては町が責任を持って取り組み、未来の幼児教育の環境整備のため活用したい。
問 町内保育園を視察したが、特に松岡小学校区の施設面は特に老朽化し、あの中での0歳児からの幼児教育は見ると堪えがたい。母親世代の保護者のニーズに叶うことを重要視し早急に取り組むべきだ。
町長 施設の老朽化が特に松岡地区が劣って



問 地元経済のV字回復は夢ではない

答 地元消費拡大に商工会をサポート



松川 正樹 議員

問 取り急ぎ3点、提言する。一つは10万円の給付金。余裕のある方は家族で消費に回していただきたい。一つはその地域、町でしか使えない地域通貨の発行。一つは「地元経済を創り直す」視点の政策を実行する。全国の地方創生トップランナー海士町(島根県)に学べだ。海士町の地元経済コンセプトは、お金を地域に引つ張ってくるのではなく、地域からの流出を減らす。地域に入ったお金をどれだけ地

域内で循環し、滞留させるか。入ったお金が最終的にその地域から出て行く前に何回地域内で使われるか。
バケツに水を入れても入れてもバケツに穴がいっぱい空いていたら、水が流れ出てバケツに水はたまらない。水を注ぎ入れるベースをアップする手もあるが、バケツの穴を塞ぐことが先。この漏れバケツの理論の実践もしていく。実践の一番やりやすい分野は学校給食。
【その他の質問】
問 在宅3ヶ月の学習の遅れをいかに取り戻すか。
答 夏休み、冬休みの短縮。学校行事の縮小、中止。個別指導の強化。習熟度授業もさらに。



「漏れバケツ」理論のイメージ図

いる。清流地区に確保してある土地を有効に活かし、東地域のエリアは東幼児園を大幅なリニューアル改修し残すよう進める。
問 民営化事業を

実践するに当たり、保護者をはじめ町民の方々が、大変心配される課題はないのか。
子育支援課長 民間の幼児園については、基本的目標に差は

なく、地域交流や町事業との連携に違いはなく、保育料も町立と同額で、入園の申し込みも、調整も町で行い、資格の持った保育士・教諭が保育する。

町長 できるだけ地元で消費することはありがたい。地域通貨は生活支援でなく、経済支援にならなければ。今、商工会はもう一度小さな商店同士が助け

合って知恵を出し合っでの大売り出しを計画中。町も応援する。学校給食も2年前から取り組んでいる。これからもしつかり進めていく。

とを目的としていることは誰にでも想像できる。3園体制の存続が不明。町民の多くは行政に不信感を持っている。信頼回復のためにも役場付近に町立の新園を新築することが望ましい。
町長 町が幼児園への配分は行うので、誰も行かなくなる園はない。

問 「創生総合戦略」の改定は

答 12月に検証委員会で審議し改定



川崎 直文 議員

問 「永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略」と併せて、「永平寺町人口ビジョン」の改定内容、進捗は。

総合政策課長 5年間で目指すべき将来人口と現状の人口の隔たりを是正し、目標推計の案を策定した。創生総合戦略の検証委員会で総合戦略の改定とともに最終的な決定を行う。

問 平成27年度から昨年度までの「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の成果は。

総合政策課長 40項目の施策で、若者、

学生まちづくり条例の制定、金融機関や福井労働局との協定の締結など20項目で目標を達成。

子育て支援関係や保育サービスの強化、交通ネットワークの構築など目標未達成が20項目。検証委員会で総括する。



問 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改定で国の第2期総合戦略、第2期ふくい創生・人口減少対策、With/Afterコロナをどう捉えるのか。

総合政策課長 国の第2期総合戦略などを参考に、町の全体方針の大幅な改定は考えない。

With/Afterコロナ等の状況変化

もあり基本目標、施策で十分に情報を集め、中身を変える。

問 改定のスケジュールは。

総合政策課長 これまでの取組の検証を7月

上旬に終え、検証委員会で総括を行う。次の5年間への多くの意見をいただき素案をつくり、年内、12月に検証委員会で審議し、戦略を固め、改定する。

問 小中学校におけるIT教育は

答 主体的な情報活用能力の育成を図る



酒井 和美 議員

問 IT教育の必要性とは。

学校教育課長 スマホやタブレットが普及している今、小学校から文字入力や情報収集の技術の習得が必要。学習指導要領に新たに位置づけられた情報活用能力の育成のための環境を整え、学習活動の充実を図る。将来社会で生きていくために必要な資質・能力を育むため日常的にITを活用した教育が不可欠。

H29・H30改訂学習指導要領「3つの柱」

「技術」ではエクセルのマクロ学習等。さらに自分が思う成果のためにどんな処理の組合せが効果的か、物事を正しく認識し、分類し、関係性を理解し、組み合わせることで論理的思考を養う。

併せて情報モラルの習得も大事。

問 タブレット導入の進め方は。

学校教育課長 年内2/3台数導入、順次授業に取り入れ、令和4年度までに全児童に行き渡る。ICT環境研究会にて活用方法協議中。文字入力など基礎教育に加え、思考ツールとしての主体的に活用できる能力を育成。

問 プログラミング教育はどのように。

学校教育課長 「算数」で正多角形の学習後、ソフトで図形を描くプログラムを習う、「技術」ではエクセルのマクロ学習等。さらに自分が思う成果のためにどんな処理の組合せが効果的か、物事を正しく認識し、分類し、関係性を理解し、組み合わせることで論理的思考を養う。

問 地方創生2期目、町の創造は

答 今後検証し、改定する



酒井 秀和 議員

問 新型コロナウイルス感染症対策の最中ではあるが、このような時こそ地方創生を実現できる自治体が必要と感じたため、町の将来について質問する。

町では国のまち・ひと・しごと創生法の設立を受けて、平成27年に永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。この戦略は今後の人口減少・

少子高齢化問題などの動きを踏まえ、社会構造の変化に向き合い、住みたくなる町の実現を目指す計画。この計画、これから地方創生2期目を迎えるにあたり、1期目の検証結果はどうだったのか。次の2期目はどのように進めていくのか。（この質問は川崎議員の答弁に含まれていたのので答弁の省略を依頼し

た）また、先日、国会で可決されたスーパーシティー法案（第4次産業革命における最先端技術を活用したまるごと未来都市）について町が目指す方向性をどのようにとらえているのか。

総合政策課長 スーパーシティー法案に關して用語的には現在行っている自動走行など結びつきを感じる



社会的問題を解決するとされる未来都市構想

が、単に技術進化を優先するのではなく10年

後、20年後の住民生活に必要な技術を今から検討していくうえで、この法案も踏まえてまちづくりを考えていく。

問 【その他の質問】町内で健康自生地を取り組みたい。答 現在20地区まで増えている。

問 保育園の民営化は町への信頼を投げ捨てるもの

答 幼保再編の答申に基づき進めている



金元 直栄 議員

問 町が進める保育園の統廃合は、地域の衰退につながると思われ、町長は本町の閉塞状況の一つとして人口減少をあげてきたが、さらに人口減は進んでいる。増は清流地区ぐらいいだ。その優良地に西幼稚園などを再編して、新園を民間園にしようのも大問題だ。

町長 民間化についてアンケートでは、民間より公立園だった。公立は閉園の心配も、保育士の身分や待遇でも安心できるから。何よりもその結果は町や保育園への信頼の証だ。ところが、都合の良い内容だけを示し、アンケートをやり直すとは異常すぎる。「子育ては町が責任を持ちます」を投げ捨てるものだ。

問 人口増対策は町独自に取り組まない限り進まない。民営が主流

事前のアンケートでは半々だったが、皆さんの民営化で負担が増えたりなどの不安に答える内容にし、再アンケートを行ったもので、諮問委員会の答申に民営化を検討するところがあったものを町として検討し進めるものだ。

子育て支援課長 民営化は子育て世代の就労や生活の多様化に際していくため。民間活力を生かしたサービスの充実、町民目線に沿ったものだと考えている。

町長 民間園に対し町の責任は契約の中で示していく。

問 【その他の質問】
コロナ対策。
答 国・県のガイドラインに沿って対応。



問 コロナによる教育対応は万全か

答 感染防止と学びの保証の両立で



上田 誠 議員

問 突然の要請で始まった休校が3ヶ月、子どもは通常の生活の様変わりや学習や生活面で不調を余儀なくされた。その対応は。

教育長 通常の3〜4倍の情報交換を開催し、保護者の協力を得、家庭学習の充実（週間計画の渡し、回収・チェック）とコミュニケーションの確保（家庭訪問や電話による対応）を図る。県の動画配信の活用や、5月の分散登校日の授業で対応を図る。

問 放課後児童クラブの機能と役割は

答 遊びや生活を支援し、健全育成を図る



齋藤 則男 議員

問 放課後児童クラブに求められる機能・役割は。そして町の取り組みは。

町長 経験豊富な方が採用できるように、環境づくりをしたい。

なる様子の観察など、先生と慎重に対応する。
町長 一斉休校前から対応を協議し、後は皆様の協力を得、児童クラブ、幼稚園の運営を

した。2万円の子育て支給や、給食費等の日割り返し等、これらも万全を図っていく。

問 【その他の質問】
各課のコロナ対策の状況。
答 各課、一所懸命取り組んでいる。

る。保護者の子育てを支援する役割が一層求められている。
次代の永平寺町を担う子どもたちを健全に育成するのが私たちの役目。他市町に誇れ

る子育て支援の町として、全ての子どもたちのために、尽力を要望する。





滝波登喜男 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

対策本部を設置し、全職員で対応

問 ①国からの学校への教員等増員支援で先日は増えるのか。②先方で構成されたICT研究会に専門家の指導を。③町在住大学生に支援を。④商工業者の経営実態把握は。⑤町の財源確保のため、事業の見直しや予算の組み替えが必要。いつまでにどのように行うのか。⑥災害時の避難所確保では、分散型が有効とされているが、どう考えるのか。⑦医療・介護従事者等への偏見や悪質行為を防ぐための啓発教育は。

町長 ③町内の困っている学生に支援してほしいと100万円の寄付をいただいている。商工会青年部と支援策を協議中。
⑤イベントやインバウンド観光、ハード事業などについて1、2年遅らせていいか精査し、9月には組み替え予算を示したい。
⑦ごみ収集の方に「収集ありがとう」の感謝のメッセージが届いている。このようなことをどんどん発信していく。
商工観光課長 ④3、5月で延べ234事業所5億6500万円の

売上減が見込まれる。
総務課長 ⑥今までの避難場所を変えたと住民に混乱を招くので、分散型を取らない。既設の施設に感染対策を十分施して活用する。



避難所開設(7/5職員防災訓練)

【その他の質問】
問 勝山街道沿いに新たな幼稚園の建設を。
答 いろいろ探したが適地がない。東幼稚園の大規模改修を行う。

決める時は今、幼稚園幼稚園再編

子ども達により良い幼児教育・保育環境整備



奥野 正司 議員

問 本町H19年4月1日住基14歳以下2912人、人口比14.3%。R2年4月1日住基14歳以下2155人で人口比11.7%。H19年比総人口減少率△9.6%、子ども人口減少率△26%。総人口減少の約3倍の速さで子ども人口減少中。町内幼稚園の状況を調査し、その課題解決策を議会に示し、協議・採決を経て、教育保育向上施策を実施することは行政の責務。町の目指す方向性、必要性を伺う。
町長 過去・現状を見据え将来予測を踏まえ、町民のための仕事

を行う。情報化社会にあつては公平性や住民への説明責任も求められ、今回の幼稚園再編も今のサービスをいかに落とさずに未来につなげるか、他のサービストの予算バランスも考慮し、住民の声を聴き議会に確認を取りながら進める。
問 H28年度第3次行財政改革大綱から課題を掘り下げて来た幼児幼稚園再編民営化。議会での説明・質疑・視察も14回を重ねた。その意図、効果を伺う。
子育て支援課長 ①幼稚園・幼稚園再編子どもにより良い幼児教育・保育環境整備と子育て家庭や子どもの育ちに配慮した環境確保
②安全な保育環境確保
③民間園導入(全国では約7割が私立園で

【その他の質問】
問 コロナ下の介護事業課題。
答 町は予防情報や感染防止品提供。ストレスの高い状況下での介護サービス提供に感謝。

新型コロナウイルス対策 議会要望&行政回答

◆総務課
問 新生活様式を町民に徹底周知して欲しい。
答 広報、広報臨時号、HPへの掲載や、SNSを活用するなど町民に「新しい生活様式」の実践を呼び掛けている。
問 支援対策の現状と課題は。
答 対策本部を設置し、週に一回のペースで全課長と社協を交え協議。窓口のアクリルパーテーションの設置や、マスク着用、業務分散によるリスク軽減、消毒用アルコールの提供、広報臨時号の発行、公共施設の休止、イベントや研修等の中止など早めに決定。今後は感染防止対策・熱中症対策・自然災害対策を総合的に取り組む必要がある。また、国の第2次補正に基づく臨時交付金を

活用した支援策については、引き続き対策本部を中心に内容を協議、柔軟に対応。
問 町民団体、集落に対する周知は。
答 地区要望は通常通り実施している。ただし、地元説明会が必要な事業は、区長と十分協議しながら進めていく。また、今後は感染防止対策が実践できるかどうかを基準に、既に中止を決定した事業の予算の組み替えや、翌年度以降に実施する事業等をすみ分けし、決定事項は関係者等へ知らせる。
◆財政課
問 第2波、第3波ということを考えると、事業の執行を慎重に検討すべきである。イベントや観光関係、大型予算など。

答 中止となった予算は、9月議会以降、できるだけ早く対応したい。次世代への負担軽減のため、省くものは省き、必要なものには手厚くするスタンスで、事業精査を行う。
◆税務課
問 税金の減免は。
答 コロナ対策としては徴収猶予制度にて督促手数料と延滞金が免除となる。減免は、徴収猶予、納期限の延長等によって納税が困難と認められる担税力の薄弱な納税者に対する救済措置。生活困窮者の窓口は、税務課債権管理室でワンストップで対応。

◆福祉保健課
問 独居高齢者へのコロナ支援は。
答 4月に入り外出支援サービスが2割から3割減少。3月の配食サービスは2割増加。人が集まる事業は全て休止し、行政チャンネルを活用した、いきいき百歳体操、音楽やテレビ体操など勧奨し、電話で身体状況の確認。
介護・障害者・医療事業所等には医療用マスクを配付、定期的に不足を確認して提供している状況。次亜塩素酸水や消毒用アルコールを無償提供。

◆商工観光課
問 町内経済への影響、町民要望は。
答 セーフティネットや応援給付金の申請があつた全体の18%にあたる128事業所中、建設業79%、飲食は78%、小売卸は54%、サービス業は32%が減少、3月～5月までで延べ234事業所で5億6千万円の(売上)減少。「永平寺町事業継続応援給付金」は6月9日時点で120件受付、10日までに89件が振込完了。申請期間を7月15日から9月末まで延長した。
◆学校教育課
問 人数が多い学校は活動休止の公共施設を活用して分散開校しては。
答 ハード面は対応できたとしても、それに伴う教員や支援員が確保できない。

永平寺町の良さを知って、

町内外に拡めたい 永平寺町ジュニアリーダー

地域の異なる仲間や住民との繋がりを生み出し、価値観や考え方を共有することで主体的にワクワクできる活動を行いたい。

◆永平寺町ジュニアリーダーは町の宝

ジュニアリーダーとは青少年ボランティア活動の一環として教育委員会の支援を受けて活動している中学生や高校生のことで、具体的には子供会のお兄さんお姉さんとして、子ども達の話し合いや遊びなど自主的な活動を支える役割を担っている。永平寺町ジュニアリーダーは仲間を尊重し、認め、協力しながら自分たちで考え、運営できる集団であり、永平寺町の未来を育む人材の宝庫である。

◆小・中学校の交流を深めたい

主に町内イベントの補助活動をしているが、令和元年度には初めて自ら小学生を対象としたイベントを企画提案し、「ゆう」を実施。開催にあたっては小学生に飽きさせず楽しんでもらうためにどうするかを話し合い、工夫を凝らして臨んだ。今後はこの経験を活かして「ゆう」を1泊2日のイベントにした



り、定期的なイベントを増やしたいと話している。

◆課題は周囲の理解を得ること

ジュニアリーダーに参画したことで永平寺町の良いところを知るきっかけになった。また、他地域の人と関わる中で永平寺町の良さを発信したことが自身の会話力やコミュニケーション能力向上に繋がったと声を揃える。その中でもっと多くの大人に理解と後押しを得ることが必要など課題も伺えた。

◆永平寺町の子ども達は素晴らしい

以前は大人が決めたことを実行する組織だったが、現在では自分達でイベントを成立させるなど、様々な経験を楽しみながら地域のために活動する姿に、サポート役の田中治和さんもワクワクしながら若者の成長に素晴らしいさを感じていた。

◆自己育成と主体性を育む

現在永平寺町ジュニアリーダーは28名。代表を務める吉田汐音さん（高校1年生）は小学校5年生から参画し、幅広い世代間での交流が自身の成長の礎になっている。もっと多くの人に経験してもらいたいと話している。募集は役場生涯学習課で随時行っている。まずは見学から、気軽にご参加ください。

（酒井秀 記）

編集者のひと言

昨年度末より新型コロナウイルス感染症の影響で大変なご苦労をされていることと思います。学校の休校や私生活および職場での3密に配慮した対応など全ての方が感染症やストレスと闘う日々が続きました。ようやく日常を取り戻そうとした矢先、東日本大震災の余震や出水期の水害等、恐れていた感染症と災害が重なるという出来事が全国各地で発生しております。皆様には今一度防災マップ等を確認して頂き、万が一に備えて頂ければと思います。国民が健康で元気に笑顔で暮らせる日々が少しでも早く取り戻せるよう心から祈ります。

終わりに、現委員での編集は今回が最後となります。期間中「がんばる団体」へのご協力有難うございました。心より御礼申し上げます。

（酒井秀 記）

議会広報特別委員会委員

委員長 奥野正司

副委員長 松川正樹

委員 滝波登喜男・長岡千恵子

川崎直文・酒井和美

酒井秀和

発行責任者

議長 江守勲